

TSR情報

2022
夏季特集号
8月15日号
No.15753

東京商工リサーチが厳選する優良企業紹介

「経営者に訊く事業特性と
今後の成長戦略」及び

「社会に新たな価値を生み出す
製品・サービス」

東京都・第22回「新型コロナに関するアンケート」調査

～都内の中小企業、「減収企業率」が初めて3割台に～

地区別利益(非上場)ランキング

フラワー事業から発展した動画を自動再生するARサービス。業界を問わず販路を拡大中！



店舗やインターネットを通じて多彩なフラワーギフトを販売している株式会社ブラン。同社がいま力を入れているのは、AR（拡張現実）を利用した最先端のサービス事業だ。その内容は民間企業の広告ツールとしてだけでなく、個人や自治体などの告知ツールとしても大きな可能性を持つもの。代表取締役社長の岡田信一氏に新サービスの概要を伺った。



チラシやパンフレットを動画化すれば、紙面では伝わりにくい詳細な情報を伝えることができる。アプリに視聴履歴が残るため、ユーザーが何度もアクセスする必要はない。

フラワー事業を一変させたARサービスの動画再生

ブランの主事業は、生花やプリザーブドフラワー（水やり不要で長期間枯れない花）の企画・製造・販売。コンサルタント出身の岡田社長が自ら立ち上げた会社だが、後発ゆえに独自のセールスポイントが必要だった。そこで約10年前に発売したのが、バラの花びらに贈り主のメッセージや画像をプリントした『メッセージローズ』。フラワーギフトに「感動とサプライズ」という新たな価値を付加した斬新な商品だった。

さらなる付加価値向上を目指した岡田社長は、現在、話題になっ

ているメタバースに注目する。現実世界にデジタルデータを重ねて新しい空間を作り出すAR（拡張現実）技術だ。

「ポイントはAR技術を使った動画再生です。文字や写真に比べると、ユーザーに与えるインパクトは圧倒的に大きいですからね。発売したのは自社開発のARツールを利用した『ARフラワー』。専用アプリをインストールし、花びらにプリントされた写真や文字・ロゴなどをスマホで読み取ると、贈り主のメッセージ動画が再生される新商品です。これはシステム上でQRコードからARアプリをダウンロードし、それを認識したアプリが紐付けられた動画を再

生する仕組み。

名刺やパンフレットなどAR事業を横方向へ本格展開

当初はフラワービジネスでのみ使われていたAR技術だったが、その後同社はこのサービスを横方向に展開。ARアプリ「モーションペイパ」をダウンロードし、スマホのカメラで名刺やチラシ、パンフレットなどに指定されたARマーカータを読み込めば、自己紹介や商品紹介の動画が自動再生されるARサービス事業を本格展開している。

サービス導入時の初期費用は名刺の場合1万円で、更新費用も込み。パンフレットの場合は10万部



著名なフランスワインとプリザーブドフラワーをカップリングした『ARフラワー』。表面にプリントされた文字がARマーカータとなっている。



プランのARサービスが導入されている企業や地方自治体・公共団体のロゴマーク。
ほかにも沖縄県那覇市への導入が決定済み。

までの印刷部数で10万円の設定だ。動画制作費は別になるが、充分リーズナブルと言えるだろう。現在はカメラをかざせばアプリが自動的にダウンロードされる仕組みや、アプリを経由せずWeb上で動画を再生する仕組みも導入済み。ユーザーの利便性がさらに向上しているため、サービス導入企業数は急速に増えているという。

民間企業や個人に加え、自治体での導入に注力

民間企業の導入例をいくつか紹介しよう。すしチェーン店の「すしざんまい」は店内のメニュー等に同サービスを導入。ネタの特徴を動画でアピールしている。放送局の「東京メトロポリタンテレビジョン」は局員の名刺をAR化。番組でも同社の製品を紹介している。注目すべきは、日本を代表する航空会社「ANA」との連携だ。ARアプリ「ANA Motion」をインストールし、2022年のANAカレンダーにカメラをかざすと、その地域の紹介動画を約30秒間再生。動画視聴後にはANAのホームページへ自動遷移し、地域の関連情報を確認することもで

きる。

「ARを使用することでユーザーの利便性が高く、利用促進や物販を通じた地域創生が期待できます」

販売先として同社が注力しているのは、地方の公共団体や自治体だ。初期には「大阪観光局」に導入された。自治体では愛知県あま市が採用済み。今年10月からは広報誌にARが取り入れられ、市の情報や広告が動画化される予定だ。

「商工課や産業振興課、観光課が地元企業の紹介に力を入れていますから、当社も大いに期待しています。加えて、当社のARサービスは住民に向けた災害情報の提供にも寄与します。メトリクス機能によって許可を得た住民の位置情報を確認しますから、万一の際は避難場所や経路などの情報を個人に向けてプッシュ発信できるのです」

ユニークな導入例としては選挙ポスターが挙げられる。今年4月に行われたあま市長選では村上こうじ氏（現あま市長）のポスターがAR化され、動画による選挙メッセージが流された。

サービス導入からまだ2年も経たないが、予想を超えた導入実績

には岡田社長も驚いているという。ARを利用した同種のサービスは広告代理店なども手掛けているが、同社ほどの実績を上げている企業は珍しい。その理由について、岡田社長はこう語る。

「当社には、フラワービジネスからの成功ストーリーができていくからでしょう。フラワー事業では、贈る方の想いを花びらにのせ、動画でお届けすることで、アプリの利便性を高めてきました。その結果が現在の導入実績につながっている。当社の強みは、まさにこの点にあるのです」



岡田社長と東京本社の社員。本社を含め、5店舗にARを熟知したスタッフが揃っている。

TSR企業コード: 30-011205-0
株式会社プラン
URL: <http://87blanc.jp/>
お問合せ先: 03-6435-8321